



南町小だより

つよく かしこく あたたかく

平成27年11月30日

校長 福田 俊彦

みんなで安全な生活を創る

校長 福田 俊彦

「みんなで創る学芸会」をめざし、子供たちが心豊かに表現する学芸会を終えることができました。南町小学校の屋上には、「ありがとうをとどけます」が掲げられています。子供たちには、学芸会も、ありがとうをとどける場面であることを話しました。「自分の役割をしつかりとする姿を、友達と心を合わせ、力を合わせる姿を見てもらうこと、それらは、感謝の気持ちをもつことから生まれてきます。」学芸会当日は、多くの地域、保護者の皆様にご参会をいただきました。子供たちの感謝の気持ちが伝われば幸いです。

さて、師走を控え、町の様子も、人の心も、少しずつ慌ただしくなっているように感じます。人の動きが多くなることは活気も生み出しますが、子供を取り巻く環境としては、気を付けなければならないことも出てくるでしょう。南町小学校では、保護者の方が、地域パトロールを継続して行っています。学校の昇降口では、安心安全ボランティアとして、地域、保護者の方が、子供の生活を見守っています。この様子を学校外から見るとどのように感じるのでしょうか。「この学校は、多くの大人が子供を見守っている。」でしょう。この1年を振り返ってみても、親父の会のお父さん方が、各行事ごとに、防犯用の上着を身に付け、学校敷地内の巡回などを行いました。多くの大人に見守られていることを子供たちも感じています。

以前に聞いたこと話です。不審者が出没しにくい環境として、次のことが示されました。
○ 地域の人々があいさつをよく交わしている。○ 子供たちがグループで遊んでいる姿が見られる。○ 人通りが多くあり見えにくい場所が少ない。

私が子供の頃、このような風景は、どこにでもあったように思います。自宅の周り、通学路には、知っている大人の人が出て、声をかけてくれました。道の角や路地では、大人が世間話をしていました。子供たちは年齢の違う仲間と遊んでいました。今、南町小学校では、そのような光景が見られるます。以前あった地域の姿が、学校に見られることは、子供の安全を守る上で効果のあることと考えています。

子供たちが生活する中には、安全なことも、危ういこともあります。南町小学校の子供をみんなの子供として見守ってくださる地域、保護者の方々に感謝を申し上げます。そして、「自分の安全は自分で守る」力を身に付けていく中で、多くの方々にご支援をいただいていることを、これからも子供たちには話していきます。来年も宜しく願いいたします。

皆様にとって、ご多幸の年となることを祈念しております。

いじめ、暴力のない学校をめざし続けて

南町小学校では、人権尊重教育を進めています。一人ひとりの子供が、友達や先生と安心して学校生活を創っていく教育活動を大切にしています。また、子供が悩んだり困ったりしていることがないか、教職員全員が相談できるようにしています。「いじめ、暴力のない学校」についての講話や子供へのアンケート調査を行ったり、相談週間を設けたりするなど、子供の心に寄り添えるようにしています。子供の健やかな成長には、ご家庭、地域の皆様のご理解とご協力が欠かせません。今後ともご支援の程、よろしく願いいたします。